

2025年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校				
教 科	科 目	単位数	標準単位数	学習期間	担当者
芸術	美術 I	2	2	半期	本校教員・スクーリング講師
教科書名		出版社	学習書		
美術1		光村図書	新美術 I		
指導目標					
中学で学んだ美術の基本をベースに、絵が不得意な人でも楽しみながらレポートに取り組めるような、基本的な技法を学ぶ。 楽しみながら、レポートに準ずる課題に取り組み、作品が完成したときの達成感を体験する。					
レポート(添削指導)	全 6 回	定期試験	無し	年間・学期	回
スクーリング	全実施時間数 12 時間	定期試験の評価割合	70 %	(定期試験は作品評価で替える)	
	標準面接時数 8 時間	評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1		

回数	日付	スクーリング 単元・学習内容	レポート 提出期限	回数	高校通信教育講座(コンテンツ視聴) 単元・学習内容
1	4/19	・最初に観察の仕方を説明し、手の構造と動きを観察。手をトレースし、関節の位置、皺を描き入れ、手の構造や筋肉の形の表現方法を学ぶ。		1	色彩…色の3要素、光と色料の3原色、色相環、補色について
2	4/19	・「筆記用具を持った手のデッサン」を行う。描きたいポーズを決めて、画面に配置する。手の構造を考えながら、描写をすすめる。		2	デッサン…デッサン用語の説明、モチーフの選定、構図選びについて
3	5/18	・透視図法(一点透視図法・二点透視図法)の描き方、空気遠近の描き方等の空間表現を事例で説明し、その技法を使って描いてみる。		3	手のデッサン…手のポーズについて、デモンストレーションをしながらハッチングなどの技法や明暗について解説
4	5/18	・透視図法、空気遠近等を応用し、第3回目の課題「空間表現」のレポート作成の前段階となるスケッチを行う。		4	絵画の空間表現①…絵画における奥行き表現の例を挙げ、写真などと比較をしながら、遠近法の種類について説明。
5	5/24	・第3回目の課題「空間表現」のエスキース作成を行う。数種類の風景写真、巨匠の作品のモノクロのコピーを作成資料として用意する。		5	絵画の空間表現②…実際のプロセスを見せながら一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法の説明を行う
6	5/24	・フロッタージュ・デカルコマニーを体験し、コラージュの材料を作成。 ・空間表現を利用し、第4回レポートの課題の下絵		6	鑑賞…ルネサンス期以降の美術史の流れを説明。バロック、写実主義、印象派、新印象派、野獣派まで
7	6/15	・雑誌や写真を使ったコラージュ作成に必要な知識の説明を行う。 ・第4回レポート「コラージュで建築物をつくる」のエ		7	コラージュ①…コラージュの歴史について説明。ダダイズム・キュビズム・シュルレアリスムについて、コラージュを制作する上での著作
8	6/15	・第5回目の課題「Tシャツのデザイン」に必要な技法・知識を学ぶ。 ・スクリーン印刷の技法、およびデザインにおける		8	コラージュ②…コラージュの制作について、素材集めのポイントや、トレーシングペーパーを使った下絵作成と貼り合わせ
9	7/5	・第5回目の課題「Tシャツのデザイン」のエスキース作成を行う。 ・キャラクターデザイン、単純な形の反復で作る模		9	Tシャツデザイン…デザインの種類とシルクスクリーンの技法について説明。ロゴマークについて
10	7/5	・第6回目の課題「模写」のための技法の説明(西洋美術史を含む) ・暑中見舞いの作成		10	西洋美術史①…イタリアルネサンス期の絵画の変遷やその特徴について、宗教画をテーマに技法の解説
11	7/20	・第1回「色彩」の応用課題。正方形内を一筆描きで画面分割し、テーマ設定の上色彩構成を行う。		11	西洋美術史②…ゴシック美術と北方ルネサンスについて、ゴシック建築や絵画を解説
12	7/20	・第2回「デッサン」の応用課題。質感の異なるモチーフを2点以上卓上構成し、静物デッサンを行う。		12	さまざまな描画材料…ラスコーの洞窟壁画を取り上げ、古代より様々な描画材料があったことを解説。木炭などの古くからある画材をはじめ、サインマーカーなどの現代で身近な画材を使用した表現について解説する。
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

《留意事項》
・スクーリングには教科書または学習書を必ず持参すること。
・実験器具、ICT機器、映像資料等を用いてより効率的に学習を進める。